

自由・平和・ヒューマニズム
国際相互理解
アジア太平洋の未来創造

「3つの50」
留学生を50の国地域から
留学生比率50%
教員の50%が外国籍

多文化共生の寮 APハウス



「ダメダメ・ビデオ」2014

You Tube

<http://www.youtube.com/watch?v=JqhfRhA8Adk#t=11>



APUの紹介(言語システムと寮の重要な役割)

Shape your world



▷ 日英二言語教育

	入学	初年次～低学年	高学年 ～ 卒業
国際学生	英語 ベース	・日本語集中学習 ・英語による講義履修	・日本語による講義履修(選択) ・日本企業への就職
国内学生	日本語 ベース	・英語集中学習 ・日本語による講義履修	・英語による講義履修(必修) ・グローバル企業等で活躍

▷ 寮の役割—APUの「ゆりカゴ」

- ・日本語ができない国際学生の受け入れ(80カ国・90%)
- ・1年後の退寮、市内生活に向けた適応教育
(ルール・マナーの習得)



APUの紹介(基本情報)

Shape your world



	APハウス1	APハウス2	APハウス3
室数	シングルタイプ425室 シェアタイプ 189室 セミナーハウス (個室2室、8人部屋2室)	シングルタイプ477室 シェアタイプ 189室 大学院生 30室 セミナーハウス (個室2室、8人部屋12室)	シングルタイプ 232室 シェアタイプ 88室
延べ床面積	15,527.39㎡	18,499.57㎡	7,750.48㎡
入居者数 (国内/国際)	539名 (190名/349名)	584名 (232名/352名)	162名 (46名/116名)
家賃(月額)	国内学生49,000円 国際学生39,000円	国内学生49,000円 国際学生39,000円	シングルタイプ28,000円 シェアタイプ22,000円
竣工	2000年4月 (2007年4月増設)	2001年9月 (2007年4月増設)	2003年4月 (2006年4月増設)



APUハウスの変遷(第1期から第4期まで)

Shape your world



第1期	2000年4月～ APハウス1竣工 ・国際学生400名に対し、425室整備 ・RA、学生部、管理業者運営体制の確立
第2期	2001年9月～ APハウス2竣工 ・大学院開設対応(507室)
第3期	2003年3月～ APハウス3竣工 ・キャンパス隣接ではなく市内の寮建設
第4期	2007年4月～ APハウス1・2増設 ・国際学生と国内学生の共同生活効果に注目 ・シェアタイプ居室の増室



(1) RA (レジデント・アシスタント)

APハウス1・2 合計64名(国際学生、国内学生各半数)

※APハウス3は2年生以上の寮でRAの役割も異なることから、1・2に焦点を当てて解説

(2) RAの役割

- ▷ 国際学生に安心・快適な住環境を提供すること
- ▷ 1年後の退寮・別府市内での居住に適応できるルールやマナーを身に付けさせること
- ▷ 多国籍・多文化環境に適応する能力を身に付けさせること

(3) 業務内容

- ▷ ゴミの分別、禁煙、飲酒、料理、寮費納入などの各種ルール指導
- ▷ 勉強・生活から恋愛までのよろず相談対応
- ▷ フロアの寮生の交流を促進するための様々なイベントの企画

(4) APU学生のロールモデルとして

- ▷ RA業務はハードワーク
- ▷ 月額2万円の奨学金では割に合わない
- ▷ しかし、新入生の憧れ、APU学生のロールモデルとして、優秀学生層が目指す役割



Resident Assistant

Shape your world



RAプロフィールカード(各棟・各フロアに掲示)



ALL RA ミーティング



ゴミチェック



(1) ハウスオフィス

6~7名の職員をハウス内に配置

(2) ハウスオフィスの役割

- ▷ RAでは難しい寮生の指導、ケア
- ▷ 1年単位で入れ替わるRAや寮生を補完し、寮運営の継続性を担保
- ▷ ハウス教育プログラム(フィールド・トリップ、ピースツアー、地域交流など)

(3) その他

- ▷ 管理人(日勤4名、夜勤6名)
施設備品の管理、入館管理、巡回、緊急時初期対応など
- ▷ 委託
寮費管理、施設の保守警備、清掃業務など



- ▷ 国内学生の入寮希望が増加
 - 国内学生入試合格者の80%がAPハウス入寮希望
 - 希望者の内、約半数が入寮を許可される
 - 現在、寮生の約30%は国内学生
- ▷ 課題
 - 安易な環境依存ではなく、
リビング・ラーニング・コミュニティの確立を



近年の特徴と課題 (GCEP、J-LEPなど)

Shape your world



- ▷ 日本企業社員のグローバル人材研修
 - ・APハウスでの異文化経験
 - ・APU・MBA(英語ベース) ※2ヶ月クォーター制
- 「GCEP: Global Competency Enhancement Program」
- ▷ 日本企業海外支社・支店の現地従業員日本語研修
 - ・豊富な国際学生受け入れの実績
 - ・英語ベースで入学し、日本企業へ就職させる
 - 日本語教育ノウハウ
 - ・英語が通用する安心な生活(APハウス)
- ▷ 小・中・高からの教育プログラムニーズ



- ▷ 企業の研修ニーズ、初等中等教育の国際教育ニーズなど、従来の目的以外の「シーズ」を秘めている。
 - よりAPハウスのポテンシャルを活用した展開を
- ▷ APUが目指す2020～2030年「グローバル・ラーニング」
 - 圧倒的な多国籍・多文化環境
 - 授業、自主活動、寮生活等、全ての経験を学生の成長につなげる仕掛け
 - 世界中で活躍する卒業生との連携
 - 世界でもトップレベルの学生の成長が実現できる大学を目指す



ご清聴ありがとうございました。

